

こころに吹く風は…＜カウンセリングルーム便り＞



明けましておめでとうございます。コロナ禍3回目の年明けです。

健康に過ごせる日々、日常生活が無事に送れる日々がなんとかけがえのないことか思い知らされての年明けとなりました。昨年2022年は、世界を大きく揺り動かす事件が続きました。「元気が一番」「平和が一番」と声を大にして叫んでみたくなります。どうか願わくば、子どもたちにこそ希望の光が降り注ぎますように。毎日明るい声で元気に登園できますように。

(やなせたかしさんの詩集「小さな手のひらでも」 から今年の願いを込めて引用しました。)

＜かたつむり＞

しあわせよ
あわてるな
かたつむりにのって
あくびしながら
やってこい

＜ちいさなてのひらでも＞

ちいさなてのひらでも
しあわせはつかめる
ちいさなこころにも
しあわせは
あふれる

＜ シリーズで考えていきましょう。 ＞

～ 6歳までに一生を支える力を育むために ～

第一条 子どもの間に確かな信頼関係を築きましょう。

身の回りの環境を「探索する」ベースとして必要なのが、安心感です。怖かった時や困ったときに、いつでも帰ることのできる場所「安全基地」が子どもには必要です。愛着関係は人が生きていく上で、最も大切なものです。人と人との絆を結ぶ能力、コミュニケーション能力の基礎になります。そしてそれは人格の土台を作ります。この初期の愛着がうまく形成されると、それから先の対人関係、愛情生活、仕事の仕方などにも、良い影響が及びます。 ⇨ けれどもそこには「母子共生の弊害」も。

「母子共生」：子どもを囲い込み知らず知らずのうちに近くなりすぎてしまうこと

＜信頼関係を築くこと＞と＜母子関係の弊害＞ 相互の兼ね合いが難しいですね。

そこで次の場面について考えてみてください。あなたなら、どうしますか？

＜場面＞ 友達とのおもちゃの取り合いで、ご機嫌斜めだったA君。迎えに来たお母さんに「ママ、遅いよ。」といら立ちをぶつけ、玄関で靴を投げつけました。時間通りに来たお母さんは、叱ると思いきややさしい顔で、「ごめんね。ママがもっと早く迎えにすればよかったね」とA君に謝りながら帰っていきました。

★ カウンセリングルームをどうぞお気軽にご利用ください。(毎週木曜日・予約可能時間 9:00～16:00)